

TEKUTEKU 熊谷まち歩き活動記録

●日時 2015年10月17日(土)10時30分～17時

●企画趣旨：日本三大聖天様の一つで国宝に指定され貴重な文化財が残る妻沼聖天山とその門前町を午前中に歩きました。

午後からは江戸時代に中山道の宿場町として栄え、戦時中には空襲によって旧市街地の3分の1が焼失、戦災復興により街並み整備が行われ、その際に残された建物と新しく作られた街並みから、今と昔が体感できる熊谷中心市街地を歩きました。

午前中はめぬま観光ボランティア「阿うんの会」、午後は NPO「木犀」の地元関係者の皆さんの

のご協力のもと、熊谷の歴史と文化、あったかいおもてなしを感じる企画となりました。



●歩いたコース：

○午前の部(妻沼)

旧坂田医院→両宜塾跡→大我井神社→歓喜院本坊→貴惣門→妻沼聖天山

○午後の部(熊谷宿)

熊谷駅→星川→市役所通り→コミュニティ広場→高城神社→中央公園→箱田神社→用水路→裁判所→明石邸長屋門→聖パウロ教会→熊谷寺→八木橋（店内に旧中山道跡）→星溪園→石上寺→甲子園第2球場（意見交換会、有志懇親会）

●参加者：大竹亮、*大森享、小笠原佳奈、小林正樹、酒井麻央、篠原陽子、鈴木丞治、関口智則、#瀬戸一海、高橋謙、戸谷正夫、内藤ふみ、服部玲子、平野隆、*古里実、#堀川雅代、*松葉茂夫、毛須知之、*森川肇、#山田 操
（*：コーディネータ、#午後の部から参加）

●案内：

○午前の部(妻沼)

めぬま観光ガイドボランティア阿うんの会 嶋原壽子さん、原口さん

○午後の部(熊谷宿)

NPO 法人住まいとまち創り集団木犀 大島健次さん、清水昭治さん、宮野鈴香さん

●共催 まち歩きグループ TEKUTEKU、建築学会埼玉支所

【参加者による評価】

○午前の部(妻沼)

1 今回歩いた妻沼聖天山と門前町（午前の部）の評価 $A \times 8 + B \times 8 + C \times 1$ (3.8)

(評価点の計算：とても良い A=5 点、良い B=3 点、普通 C=1 点、良くない D=1 点とした平均値)

A：素晴らしい国宝聖天山を中心に、生活感のある小さな門前町が形成されていた。ひとつひとつの建物を丁寧に活用する門前町の再生が試みられており、このような魅力づくりが進むといい町になると思う。

A：修復された聖天山は期待どおり魅力あふれている。さらに門前町も想像していた以上に広がりがあり元気で好感が持てた。半日コースではもったいないと思えた。



A：国宝の妻沼聖天山本殿はとても華やかでインパクトが抜群でした。縁結びや門前町のグルメなどで若い人も楽しめる観光まちづくりを感じられてよかったです。

A：以前仕事の視察で訪問したが、詳しい解説が無かった。今回は良く理解できた。

A：地元の商店会の若の方や、商工会の方が積極的にまた自主的に活動している。

A：典型的な門前町で、街全体がコンパクトで、程よいまとまり感があった。

A：2回目の訪問ですが、あらためて素晴らしさを感じました。

A：妻沼が古くからの交通の拠点であることを知らなかった。

B：行政・住民が連携しての保存への熱意が伝わりました。バス路線の利用も評価します。本数も多く利用度が高いようですが、採算が取れているということでしょうか。今、各地でバス路線の撤退が相次いでいます。観光を盛んにするには、支える住民の「出歩く足」を保障することが必要です。「A」ではないのは、聖天参道の石畳の歩きにくさです。ときがわ町の坂東九番・慈光寺も同じ「三波石」（緑泥片岩）を用いていますが、車椅子が通行できないのはもちろん、デコボコで歩きにくく、雨のときは滑ります。参拝者は高齢の方も多いでしょうから、改善をすべきです。

B：聖天山自身は大変に見ごたえがあつてよかったです。門前町は休日でもほとんど人が歩いていなく少し寂しい印象を受けましたが、お店でベンチや花を飾ったりしておもてなしの試みが広がっているので、継続して取り組むところを期待したいと思います。

B：地元の方の丁寧な説明があり良かった。坂田医院は文化財として遺されているので見学できて良かった。もう少し門前町について散策する時間があっても良かった。

B：妻沼聖天はよかった。坂田医院と大我井神社はまあまあ。ボランティアには感謝しますが、話したいことと聞きたいことに齟齬がったように思います。

B：午前中の短い時間でしたが、まちあるきを通して妻沼聖天山をメインとしたまちづくりがなされていることがとてもよくわかりました。

B：地元に住ながら新しい発見あり 裏道に氏神さまの祭ってある家が多数ありました。

B：とても良いところだけど、まち歩きとしてはアクセスが良くない。

B：門前町として町並みがよかった。

C：普段入ることのできない「旧坂田医院」の見学ができたのが良かったが、今回のテーマの「門前町」については街の雰囲気づくりがまだ十分ではないと感じた。

2 妻沼聖天山と門前町（午前の部）で印象に残ったところなど

○阿うんの会：各施設を解説してくれる方々が熱心で感動した。

○阿うんの会：ボランティアガイドの方の熱心さがよく伝わりました。聖天山では原稿も見ずにスラスラ説明しているところは大変素晴らしい、お客様のために頑張っている姿がとても感心しました。

○阿うんの会：とても熱心にわが町を語っており、訪れた人に街の魅力とその想いがしっかり伝わってくる。

○阿うんの会：情熱あふれる説明に感謝。会長の嶋原さんが付けられたという「阿うんの会」という名前も良い。

○阿うんの会：郷土愛に敬服

○阿うんの会：皆様の説明によりよい見学となりました。

○阿うんの会：地元の方に詳しい案内をしていただくと、理解が深まります。

○阿うんの会：聖天様のガイドの方達はよく勉強しているなと思う。

○阿うんの会：話したいことはまだまだあるけど時間の都合で我慢しているあの姿勢がたまらなく良い。このまちが好きなんだな～ということが窺える。

○阿うんの会：本当に地元が好きで、たくさん紹介したいという気持ちが伝わってきました。時間があればもっと話を聞きたかったです。

○阿うんの会：ガイドボランティアの方々が熱心で色々説明いただいたのは良かったが、もう少し来客のペース（時間）に対応した案内の時間配分ができると良い。

○阿うんの会：ボランティアの方には有難いと思いますが、案内するのに事前にどのようなことに興味がある団体で、時間の配分も含めて。

○妻沼聖天山：華やかな彫刻の奥殿はずっと見ていられそうでした。猿や動物たちの彫刻は飛び出してきそうなくらいの立体感でした。洪水により工事が中断して完成までに長い年月を要したそうですが、洪水の跡が貴惣門に残っていて、この土地の特徴と歴史を感じることができました。

○妻沼聖天山：江戸後期装飾建築の代表例というだけあって彫刻が素晴らしい。江戸時代



の建立の経緯における先人の苦勞、そして今回の修復工事での再生とういように歴史を引き継いでいる点も良い。埼玉が誇れる和のバロック建築である。

○妻沼聖天山：妻沼にこんなすごい建造物があるなんて驚きです。江戸期までと現在とで、人の流れ、集まる場所がこうも違っているということですね。

○妻沼聖天山：国宝であることは知っているが、こんなに色鮮やかな建物であることは知らなくて、見てびっくり！

○妻沼聖天山：はじめて妻沼聖天山を見ましたが、細部にまでみられる装飾がとても素晴らしく、圧巻でした。



○妻沼聖天山：妻圧倒的な量と密度の彫刻群が良好に保存されている。

○妻沼聖天山：建築装飾の見事さに感動したが、地元の方々の力で再建されたのはもっと素晴らしい。

○妻沼聖天山：境内の（駐車場の廃止は？案内看板のデザイン、車止めのコンクリートの蛍光色、）等以前から気になってます。

○坂田医院旧診療所：シャープな外観の中にある洋風の意匠と外壁のスクラッチタイルが素敵でした。内装、設備も保存されていて、広々とした空間は今でも診療所として使えそうなくらい生き生きしていました。



○坂田医院旧診療所：「火鉢」（中には練炭？使い方を知りたい！）と玄関先の壁面のナゾ（四角いコンクリートの打設跡。何が掲げてあったのか？）。

○坂田医院旧診療所：立派な建物が良く保存されている。医療機器等も残されており臨場感がある。

○坂田医院旧診療所：何も使われていないなんてもったいない。ぜひ一般公開してほしい。

○坂田医院旧診療所：圧巻であった。昔の町がしのばれるようであった。説明も分りやすかった。



○坂田医院旧診療所：病院や診療所を街歩きで見学するのは初めて。新鮮な驚きだった。こういう場所が見学できるのは意外で良い。

○大福茶屋さわた：町家を活かして店舗兼休憩所となっている。居心地がよく持ち込み歓迎などホスピタリティも感じられる。本店の建物もいい。

○大福茶屋さわた：古民家のくつろげる雰囲気が良い。お向かいの森川寿司店の特大いなり寿司を持ち込みで食べることができる。商店街として連携も素晴らしい。

○大福茶屋さわた：持ち込んだいなり寿司を食べさせていただき、ゴミまで処分してくれた。

○「さわた」などの古くからの商店：それらのお店間で出前が出来たこと。

○「さわた」のホワイトチョコの焼き菓子「てくてく」：このネーミングが良い。まち歩きマップ付き。TEKUTEKU メンバーとしては、うれしくなってお土産にしました。

○門前町の商店：お茶の西田園、マッチ珈琲、大福茶屋さわた。リノベーションがすてき。

○門前町：古めかしい商家もみられて門前町の雰囲気を感じられました。グルメも充実していて、他のお店で買った食べ物を持ち込んでOKなスペースもあり、街の一体感があってよかった。

○門前町の路地：家々がみな「屋敷神」を祭っていること、その社もそれぞれにデザインなど凝っていて、庭先に歴史の証人が佇んでいるようでした。建てられた時期や由来など、聞き書きしたら、また違った門前町の歴史が見えてくるように思いました。

○歙喜院本坊：修行道場としての雰囲気がとても良い。聖天山とは対照的な美しさ。

○歙喜院本坊の屋根の丸み：穴場でした

○藤川屋青春館：親しみやすくリノベーションされ、気楽に立ち寄れる雰囲気。レンタサイクルもありがたい。

○藤川屋青春館：町を見るための自転車を置いてあるステーションが気に入った。

○銅（あかがね）の道：妻沼が足尾銅山と関係あるとは知らなかつ



た

○**仕組み**：手づくり市など積極的に行なっていて、外部から沢山の人がやってくる。ガイドの会など。

○**仕組み**：商店街の各店前の小さなぎやらりー、貸出番傘温かみを感じます。

○**人**：訪れた人の街の印象を良くするのは地元の人の挨拶、会話だと私は強く感じます。

○**人**：鳴原さん、昼を食べたうどん屋、それぞれ町を大切にしていると感じた。

3 妻沼聖天山門前町の今後のまちづくりへの提案

○門前町も様々な店舗があり観光を楽しめるまちになっていると思います。**観光案内所**などがまちあるきの際には見られませんでした。そうした施設があったりどの区域からが門前町なのかなどがわかりやすくなっていると観光するのにわかりやすいのかなと思いました。

○自転車貸し出しの場で、門前町にふさわしい**地図**を配布する。その裏面には聖天様のガイドの概略を示す。

○案内コース途中で中だるみが見られたので、適度な間隔での**イベント**や**観光ポイントの整備**が望まれる。

○境内から南に延びる本坊への**参道の整備**。以前に建築士会で提案した事例はあるのですが、沢田やさんが主宰で春、秋と年に2回「手づくり」で賑わいます、私も出品しておりますが、お客さんとの会話もはずみ楽しみです。行政指導でないところが素晴らしいです。

○**門前町の路地**では家々がみな「屋敷神」を祭っていること、その社もそれぞれにデザインなど凝っていて、庭先に歴史の証人が佇んでいるようでした。建てられた時期や由来など、聞き書きしたら、また違った門前町の歴史が見えてくるように思いました。（2再掲）

○裏路地で手づくり市をやっているが、もっとやって行ったらいいと思う。川越も最近、町の裏の方が素敵になってきた。

○**門前町の飲食店や店舗**に人がもっと回遊できる仕組みを作ると賑わいがでてくると思います。例えば女性をターゲットにしたお洒落なカフェや店舗をメインにそこでしか手に入らない商品売るなど、特別な場所を印象できる工夫をすると面白いと思います。

○**門前町**という特性を生かし、地元住民にも来街者にも魅力的なまちづくりを進めてもらいたい。現在のリノベーションによるまちづくりプロジェクトを活用して、気軽に立ち寄れる場所や居心地のいい場所を増やしつつ、各商店が一点一点でも推奨銘品を競い合うなど、参詣者にアピールするような仕掛けが有効と思う。

○**門前町の商店街**は、個店がそれぞれその魅力を磨くのはもちろんのこと、お店同士の連携をさらに進めて街の魅力を高めて行って欲しい。森川寿司店の特大いなりをどこのお店でも持ち込みで食べられるという雰囲気をもっともっ



と他のお店同士でも広げていくと良い。

○稲荷寿司が名物と聞いたが、入手できる店が少ないように思う。屋外でも食べやすい場所を整備していただけるといいのですが。稲荷寿司だけでは少し物足りない。一緒に食べておいしく合うものがあるといいと思います。

○埼玉県田園都市づくり課主催のまち歩き企画の継続（いなり寿司の紹介や歓喜院本房見学も追加しては）

○今回のまち歩きコースはなかなかのものだった。見所は多く、飲食も充実。「散歩の達人」で紹介されるコースとしても使えそう。もっとPRして、観光客を呼び込めないか。付近の観光地とつなぐことも考えられる。

○マスコミ等を通じた知名度アップ

○四季を通して祭りがあり地元の方々にも根付いているようなので、いつ来ても違った顔のある街、何度も訪れたくなるような街になってほしいと思いました。

○街の雰囲気をつくり出すには、より地元が一体となって盛り上げていくことが必要である。

○熊谷駅からバスで片道 500 円以上かかる状況は何とかならないものか。せっかく熊谷市と合併したのだし、アクセスの面で熊谷市がもっと支援してほしい。



4 今回歩いた中山道熊谷宿（午後の部）の評価

（評価点の計算：とても良い A=5 点、良い B=3 点、普通 C=1 点、良くない D=1 点とした平均値）

A：解説付きで昔の写真と現在の街並みを比較しながら歩くことができたので、どのように街が出来たのか想像しやすかった。立派な水路が多く残っていて、田畑が広がっていたことを感じさせるとともに現代でも癒しの空間になるのではないかと思います。

A：「木犀」のみなさんの活動があるおかげで、感慨深い「歩き」ができました。ありがとうございました。

A：地元の方が目的に合わせて説明してくださり良かった。昔の写真を用意してくださり、今と比べられたことが良かった。

A：午後のみの参加で短い時間でしたが熊谷の街

$A \times 6 + B \times 12 + C \times 2$ (3. 4)



並み建物を解説を聞きながらゆったりと歩け良かった。

A：まちあるきを通して、熊谷駅周辺の歴史を感じられて面白かったです。

A：熊谷に勤務していても知らない部分（水路など）を見ることができました。

B：残念ながら昔の町並みはほとんど残っていないが、それでも旧家が点在し、川沿いの遊歩道があり、社寺や茶室、長屋門や洋館などに文化の香りが感じら



れた。ただし、現代的な都市機能や魅力が感じられず、将来の街の姿が想像しにくかった。

B：熊谷は戦災後復興したまちのため、街区が整備され、道路がとても広い印象でした。しかし、戦後の面影が残る古い建物や水路が残っていたのが新しい発見でした。

B：全体の印象としては「普通」なのですが、これが戦災にあったまちが復興を遂げたという点を考えると、地元の方々の思いが伝わってくる気がします。

B：以前にも何度か熊谷に来ましたが、どこに行ったらいいのかわからずに駅の周辺を歩き回りましたが、今回は案内していただき、少し深く知ることができたように思います。

B：熊谷には何回も訪れているが、市役所と駅を行ったり来たり。街中をじっくり見たのは初めて。歴史を含め大変勉強になった。

B：京都から参加して、市街を散歩する体験をさせていただき、こんなことはめったにない事楽しい時間を過ごせました。

B：さすが、昔の県庁所在地であったという風格が漂っている。あちこちに残る古い建物がいい味を出していた。

B：歩くコースがよく練られていて良かったが、中山道宿というイメージは薄かった。

B：ポイントでいい建物や場所はあるが、連続性が希薄。

B：レンガ造りの教会や水路など知らなかった。

B：昔の写真を使った説明がよかった。

B：（コメントなし）

C：個々のスポットは良かったが、中山道熊谷宿としての印象が、他所から来た方には分かりづらいのかなと思った。

C：戦災や道路拡幅があったとは言え、まち歩きコースに中山道熊谷宿を感じさせる部分がもう少しあると良かった。

5 中山道熊谷宿（午後の部）で印象に残ったところなど

○中山道：百貨店の八木橋の中に元の中山道が通路として残されているのが印象深かった。百貨店がその街の歴史を取り入れて、その土地に馴染もうとしているところが良かった。

○八木橋デパート:デパートの1階通路が旧中山道の位置にあり、それを店舗通路として設計し演出している八木橋デパートに拍手です。

○八木橋デパート:区画整理で廃止された旧中山道の道筋を店舗内部通路に再現し、「中山道熊谷宿」と表示してあるのには感激した。

○八木橋デパート:デパートの中を中山道が通っていた場所。そのような仕組みを認めた行政とデパートの度量のデカさ。



○八木橋デパート:古い中山道がデパートの中を走っている(?)。まちの記憶をとどめるいい仕掛けですね。

○八木橋:中山道を建物の中で再現しており、過去の歴史が残されている。

○八木橋デパート内の中山道:オーナーの見識が素晴らしい。

○八木橋の中の旧中山道:穴場だった。

○八木橋デパートの中山道

○聖パウロ教会:めずらしいレンガ造構造の建物を実際に拝見でき感動しました。米国の建築家が設計したという小屋組も日本建築にはない組み方で勉強になりました。大正に作られた建物がいい状態で残されていることは素晴らしいと思いました。

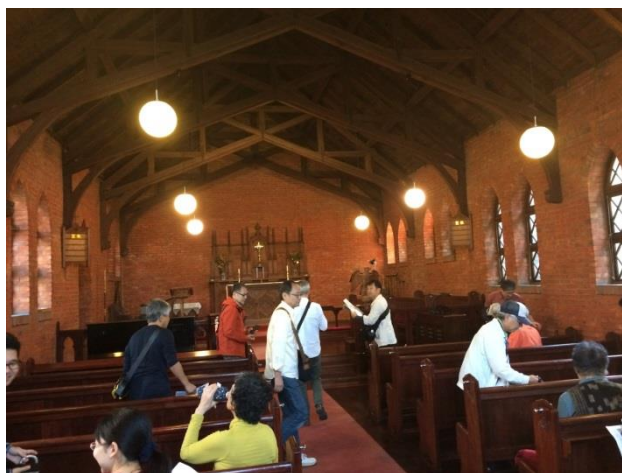


○聖パウロ教会:重厚な煉瓦と内部の軽やかな木骨が良く合っていて、歴史を感じる空間でした。落ち着くので、時間を忘れてずっと座っていたかったです。

○聖パウロ教会:煉瓦に味わいがある。牧師さんが信者でない我々にも自由に中を見せてくれる雰囲気も良い。熊谷の街の宝石のよう。

○聖パウロ教会:オシャレ!神父さんも紳士的。熊谷にこんなところがあったとは…ムムムッ

○聖パウロ教会:コスト削減のため、外壁は焼けすぎレンガを使用しているのが



美しかった。

○**聖パウロ教会**：立派な教会建築の姿に人々の敬虔な想いを感じることができた。

○**聖パウロ教会**：軽井沢にあったら、観光地になっているのに。残念。

○**聖パウロ教会**：建物が素晴らしい。

○**箱田神社付近の用水路**：柵がないところがいいです。自転車が落ちたりはしないのか、少し気になりますが、安全対策にあまりに過敏になってつまらない施設になるよりいいのではないかと思います。

○**箱田神社付近の用水路**：まわりは住宅街になっていましたが、用水路があることでのんびりとした印象のあるまちなみになっているように感じられました。

○**箱田神社付近の用水路**：ゆるいカーブを描き、柵もなく、魚が泳いでいて、何ともものどかな感じが良かった。

○**箱田神社付近の用水路**：流れている水というのは それだけで心をなごますもの。もっと活用がしたいですね。

○**箱田神社付近の用水路**：熊谷が荒川の伏流水が豊富なことを知らなかった。

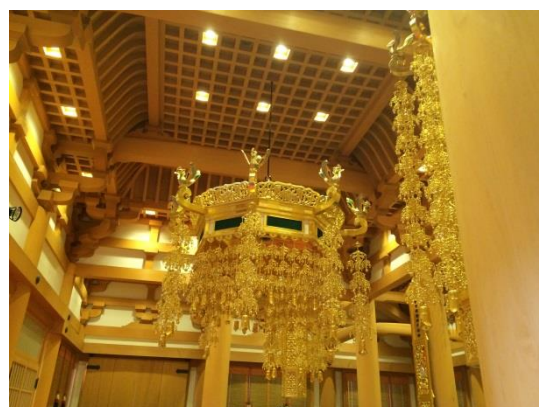
○**箱田神社付近の用水路**：まち中にあり柵が無い、親水性。

○**箱田神社付近の用水路**

○**石上寺**：宗派や格式など制約のありそうな宗教建築ですが、建て直しとなった際等、その時々々の住職の想いが反映されて、進化していくのだなと思いました。宗教建築で建て主の考えが聞けることはなかなか無いと思うので貴重な経験でした。

○**石上寺**：70年前の熊谷空襲で失われた本堂を4年前に現代の名工により再建された努力に敬意を表します。

○**石上寺**：住職の方の話でお金がないなか仮住まいで続けていたことが大変印象に残りました。



○石上寺：住職の熱意と建物がいい。

○星川：遊歩道の水が、星溪園に近い方がきれい、駅に近い方が少し汚れているように思いました。熊谷市は地下水が豊富なところだそうなので、地下水を活用して川を浄化したらいかがでしょうか。

○星川：荒川からの引き込みや暗渠化を免れた星川が生き生きと活用されていて、水辺のある町の良さを感じました。

○星川：親水性が増し水と緑と彫刻のある道として、散歩に良い。○星川と星溪園：以前からこの界隈が好きで、川沿いを歩き、公園で昼寝していました（笑）

○星溪園

○木犀：町を歩きながら、その場で昔の写真を見せて解説するという活動は、町の成り立ちや時代の移り変わりを客観的に認識しつつ実感できるので、非常に面白いと思った。

○木犀：今回案内してくださった方は、説明などにポイントをつかんでいたと思います。

○木犀：案内の大島さん達の写真を使つての説明はよかった。

○木犀：地元愛が感じられる熱心な方々だった。

○赤石邸長屋門：漆喰壁のパターンが初めて見る柄で印象に残りました。また門左側が茶室として使われているとのことで印象に残りました。

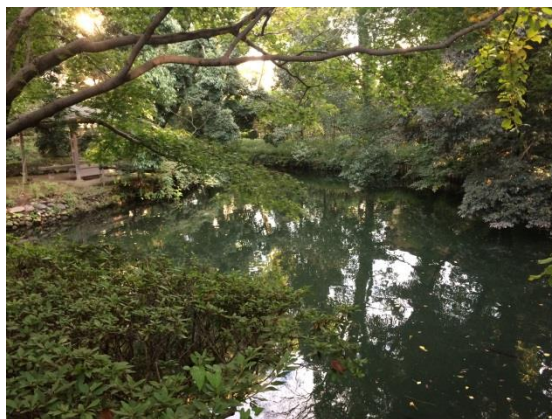
○明石邸長屋門：風格あるかつての屋敷街の様子を伝える貴重な建物。現存していることに敬服。

○居酒屋甲子園第2球場のマスター：サービス精神あふれる元気で大きな声が楽しい。

○甲子園：本店もいいです。

○熊谷市役所周辺：地方の県庁所在地のような佇まいが好きです。

○散策：「暑いぞ熊谷」のイメージが先行して散策というイメージがありませんでしたが、見



どころが多いことにびっくりしました。

○**中山道沿いの店舗群**：町並みは残っていないが、いくつかの店舗の佇まいや商売の様子に往時の雰囲気が感じられた（歩けなかったが、妻沼往復のバスの中から見た限りでは）。

○**仕組み**：宿場町としての連続した街並みが乏しい感じがした。

○**森村誠一氏など、地元出身の有名人**：私が知らなかっただけ？

6 中山道熊谷宿（熊谷の中心市街地）のまちづくりへの提案

○宿場町としての歴史と、近年の「暑い街」「ラグビータウン」等、**新旧の見どころがうまく融合**できる可能性のある街だと思います。歴史を保存するだけでなく、新しいものを取り入れていくことがある意味とても埼玉らしく、熊谷にもなじむのではないかと思います。

○ラグビーの町熊谷にもかかわらず、市街(今回歩いたところ)では感じる事ができなかった。2019年のワールドカップ日本大会に合わせて**ラグビーの町づくり**を期待します。

○熊谷といえば、**スポーツ**（ラグビー、野球等）が思い浮かぶので、もっと前面にだしてアピールしてほしい。

○江戸時代の宿場町、戦災と復興などの歴史を刻んでいる市街地の特徴を活かしていくことが大事だと思う。大規模プロジェクトに期待するのではなく、若者が町の小さなストックを活かして起業できるよう支援するなど、**リノベーション型のまちづくり**を進めてはどうでしょうか。

○(当日歩いた限りでは、)都市規模が大きいものの（大きいゆえに）発展の基盤が良くわからず、今後の方向性がイメージしにくかった。中心部の広大な開発用地（未利用）が象徴するように、現代的な都市機能の行き詰まりに直面し、一方で歴史的資源は点在するが町並みの広がり少ない。今後は開発よりも**既存ストックの利活用**が鍵になると思われるので、残された貴重な歴史文化資源の積極的活用や中山道沿いの建物群のリノベーション等に期待したい。

○戦災で焼けてしまったのが残念だが、歴史ある街を復元していくことだと思う。宿場としての繁栄、埼玉県を中心としての**過去には十分な資産**であり、是非活用してもらいたい。

○中山道がデパートの中を通るなどして昔の街区の痕跡がみられるので、こうした**昔の街区や道を生かした取り組み**によって熊谷のまちの歴史が今後も引き継がれるようになると良いと思います。

○八木橋の建物の中を**旧中山道**がとっている事を建物に生かしてあり、その**連続性**がもっとほしいです。



○**用水路**が市街地周辺の水田を灌漑していることは、市街地と周縁部分との関係のあり方を象徴しているように感じました。20数年前、庄内平野の日本海側に面している町・遊佐では、鳥海山からの湧水が自分たちの町だけを通過して日本海に流れ出ることから、「田んぼも海も汚さない」と農協婦人部が先頭に立って合成洗剤追放運動を展開しました。かつての「宿」での食や燃料、運搬などがどのようにして周縁から支えられていたのかという視点で「まちづくり」に取り組んでいただけると、また違った層の参加者が増えるのではないかと思います。

○星川の**親水空間**は、整備当時としてはなかなか斬新だったのではないのでしょうか。こうした空間資源を活かしたいですね。(栃木市のような、せせらぎが流れるまち)

○場所ごとに特徴着けていき、**ネットワーク化**できればいいかなと思う。

○それぞれの地域の特色を生かして、古い街並み、公共の様子、用水の生かされた住宅地などに、**ニックネーム**を付けて、**散策しやすく**すると良いと思いました。

○「中山道熊谷宿」を前面に出したいならば、例えば**案内看板**などでスポットやまち歩きルートの紹介を行うとより印象に残りやすいと思う。

○今回の**まち歩きコース**がとても良かったので、このコースをオフィシャルガイドブックとかに載せたら良いと思う。

○旧中山道を**歩くツアー**を企画しては
○懇親会の中で空き地が多いとの意見がありました。今後いかに**空き地を解消**するかが問題だと思います。空き地



の解消策などで、ポケットパーク整備などの手法もありますが、やはり建築物、又は立体的に活用することが、街の活気につながると思います。

○中心市街地が他県の地方都市のように駅もあり、交通の便がよい。住むのにもコンパクトな街になっているので、**住宅を駅近に誘致**するなどのまちづくりをするとよいと思います。

○難しいと思いますが商業都市でありますので**各商店が元気**になっていただきたいと思います。

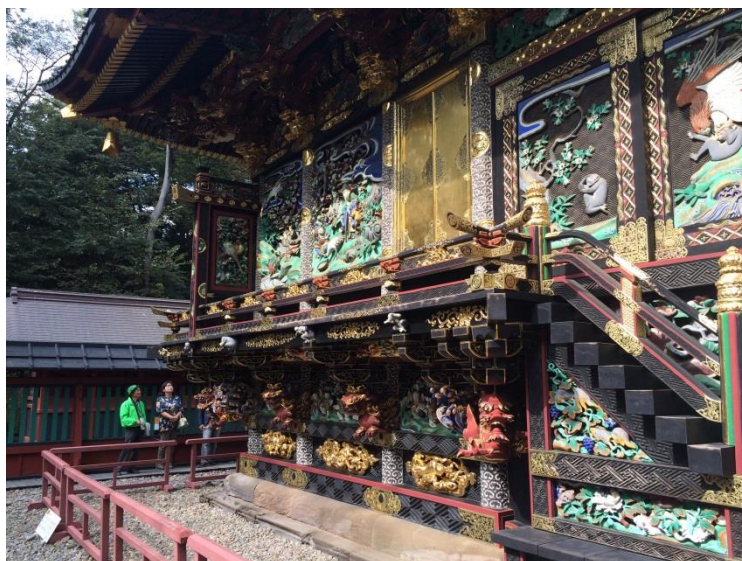
7 その他、今回の企画に参加しての感想など

○妻沼は初めて知り訪れましたが、とても人間味ある門前町で好感が持てました。熊谷中心部は漠然としたイメージを抱いていましたが、じっくり歩くと面白い要素がたくさん見つかりました（もっと中山道を歩きたかったです・・・）。企画・案内していただいた方々

に感謝します。ありがとうございました。(R.O)

○妻沼「歓喜院本房」「銅（あかがね）の道」、熊谷「聖パウロ教会」「荒川の伏流水の水路」など新たな発見だった。「水のまち『熊谷』」(S.O)

○熊谷のまちを歩いたことがありませんでしたが、妻沼と熊谷駅周辺とそれぞれ多くの魅力ある場所があるまちだとまちあるきを通して感じました。今回は限ら



れた時間でした他にも面白そうな場所がまだまだありそうなので個人的にもまた訪れてみたいと思いました。(K.O)

○いつも通り過ぎてしまっていた熊谷のまちを知る良い機会となりました。妻沼地区も中山道熊谷宿も街を見て歩くのにちょうどよいスケールだと感じたので、観光にもぴったりだと思います。(M.S)

○「建築」の部外者ですが、いつも多様な視点から「まち」に触れることのできる企画を楽しませていただいています。ありがとうございます。(Y.S)

○駅前のネオンや看板を気にかけていらした方もいましたが、わたし的には都市の猥雑感は嫌いではありません。むしろこれからの発展の象徴だと感じました。(J.S)

○「阿うんの会」をはじめとするボランティアの皆さんの町を思う気持ちに脱帽です。(T.S)

○京都から参加して、改めて京都の町並みや風景（山や川など自然のモニュメンタリ-）に依って、今どこにいるかがわかる都市である事に気づき、再認識させていただきました。(I.S)

○今回の企画を策定・実施された方々の努力に感謝いたします。ありがとうございました。(K.T)

○妻沼は多少まちづくりに係っていたので実際あまり目新しい発見はなかった。熊谷は時々買い物に行ったり、仕事で行ったりしていたが、新しい発見があり楽しかった。本庄と比べると、20km離れただけでもう群馬の薫りがしないなあと、改めて思った。本庄は群馬の文化圏。(M.T)

○参加費もなく、地元の資料を手作りも含めて配布いただき嬉しかった。今後も機会があったら、参加したいと思います。(F.N)

○普段見過ごしてしまう点を、ゆったりとまちあるきをする事で気付くことができたのが良かった。(R.H)

○漠然とした思いつきにすぎませんが、市役所の耐震改修工事に伴って湧いて出ている地下水に利用価値はないのだろうか。妻沼は、合併して目立たなくなってしまったように感

じられます。他にもこういった町村は多いと思いますが、地図から名前が消えるということとは大きな影響です。(T.H)

○地元の方にご案内いただく埼玉の街歩きシリーズ熊谷編も見応えのある楽しい企画でした。中山道の宿場町については、これまで本庄、深谷、大宮、浦和と見て歩いていますが、埼玉の中山道宿場町シリーズとして今後も広げて行きたいですね。ご案内いただいた熊谷、妻沼関係者の皆さんありがとうございました。(M.F)

○懇親会の甲子園第2球場は食べ物も食べきれないほどで、またご主人の声が大きく元気をもらえました。地元の飲み屋もたくさん残っているので、地元の持つ力を秘めていると思います。(T.M)

○今回、熊谷市の松葉課長にいろいろご尽力いただき、良い企画になってとても感謝です。やはり、まち歩きは地元の方のご案内により充実するものですね。(H.M)

○初めて参加しましたが、なかなか楽しいものでした。街歩きはもちろん、新たな人脈もでき有意義でした。機会があれば、次回も参加させていただきます。(M.Y)

